

令和5年度サーキュラーエコノミーの実現に向けた社会実装化事業

実施報告書

フィールトオーナメント

FEELT ORNAMENT

を活用したプラスチック資源循環の見える化事業

令和6年3月6日

株式会社グリーンディスプレイ

目次

事業の背景	2
事業体制・各社情報	2
協業の経緯と目的	3
事業の実施内容	3~6
事業によって得られた効果	6
本事業後の展開	7
実施スケジュール.....	7

■ 事業の背景

プラスチック製使用済空容器の回収と再利用にはいくつかの課題が存在します。

まず、回収システムの整備が不十分であり、効果的な回収が行われていないことが挙げられます。

また、回収されたプラスチックの再利用には適切なリサイクル施設や技術が必要であり、これらの整備が不足していることも課題です。さらに、消費者の意識や行動の変化が必要であり、リサイクル意識の向上が求められています。これらの課題を解決するためには、回収システムの改善、リサイクル施設の整備、消費者教育など総合的な取り組みが必要です。

■ 事業体制・各社情報



ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社

ユニリーバが実施する「UMILE プログラム」とは、毎日の暮らしの中でお得にエコ活ができる、消費者参加型のリサイクルプログラムです。使用後の空容器を回収ボックスに入れることで「リサイクルしてためる」、ユニリーバのつめかえ製品を「買ってためる」、ごみ拾いや環境学習等、SDGs 活動に「参加してためる」ことで「UMILE」というポイントをためられます。ためたポイントはエコグッズに交換 / LINE ポイントに交換 / 寄付することができます。

abode

株式会社アボード

洗練されたデザインと機能性を追求するファニチャーレーベル。

英語で「住居」を意味する通り、人の生活の基本となる住空間に主軸を置いたプロダクトを展開する。日々食事をし、大切な人と過ごし、身体を休める場が、その人自身をかたち作っているとも言えます。目指すのはライフスタイルにアクセントを付け、感性を心地よく刺激する製品。優れた品質を求めた結果、すべての製品は made in Japan です。



株式会社グリーンディスプレイ

商空間やオフィスといった人々が集う場所に、植物などの自然の素材を用いた環境演出をご提案をしています。都市生活の中で植物のある空間の心地よさや、移り変わる季節の楽しみを、出来るだけ多くの人々に感じていただけることを目標とし、時代性や地域性を生かしたコンセプトチャルな空間づくりを目指しています。

■ 協業の経緯と目的

ユニリーバでは 2020 年 11 月より、SDGs プラットフォーム「UMILE（ユーマイル）」プログラムで、シャンプー等のプラスチック製使用済空容器を回収していますが、PET 製の容器については、ボトルに着色がされていたり、異素材のラベルが貼られていることや、飲料 PET リサイクルの施設での引き取りが難しい等の事情から、リサイクル用途が限られていたため、回収した PET の活用先を模索していました。

その中、飲料 PET の再生原料でデザイン製の高い硬質フェルトボード（以下 FEELT）製プロダクトを販売している abode と出会い、社会的意義の高い再生原料を探していた abode も「UMILE」の取り組みに共感し、シャンプー等の PET 製容器を原料とした FEELT の試作に至りました。今後は量産を目指し、生産の効率化に向けて検証します。

グリーンディスプレイは、長年にわたり都内の様々な商業施設において、持続可能性を強みとした空間デザインを手掛けてきましたが、昨今、取引先様からのプラ削減の要望が高まっていることを受け、これまで以上に廃棄物を生まない循環型の商材を普及させる必要性を感じていました。

本事業では、3 社の協業により再生原料から作られるクリスマスオーナメント「FEELTORNAMENT」を制作し、都内の商業施設のクリスマス装飾に活用し、多くの人々に触れる機会を提供することを目的としました。

■ 事業の実施内容

①ユニリーバの「UMILE」プログラムによるプラスチック製使用済空容器の回収

ユニリーバで実施する「UMILE」プログラムによって、都内の商業施設に UMILE 回収ボックスを 150 箇所設置しました。本事業において回収したペットボトルの数は約 1600 本になりました。

集まった空のボトルを洗浄した上でペレット状にし、FEELT を制作する原料を作りました。（一部工場から出るロス品も含まれています。）



UMILE ロゴ



UMILE 回収ボックス

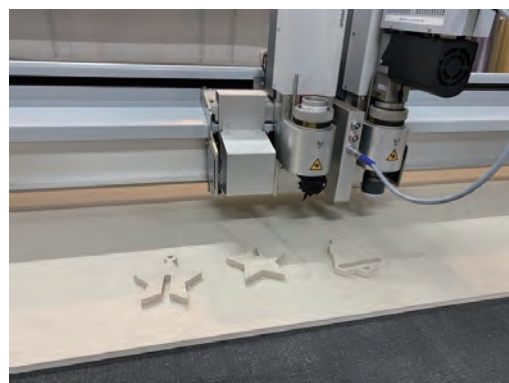
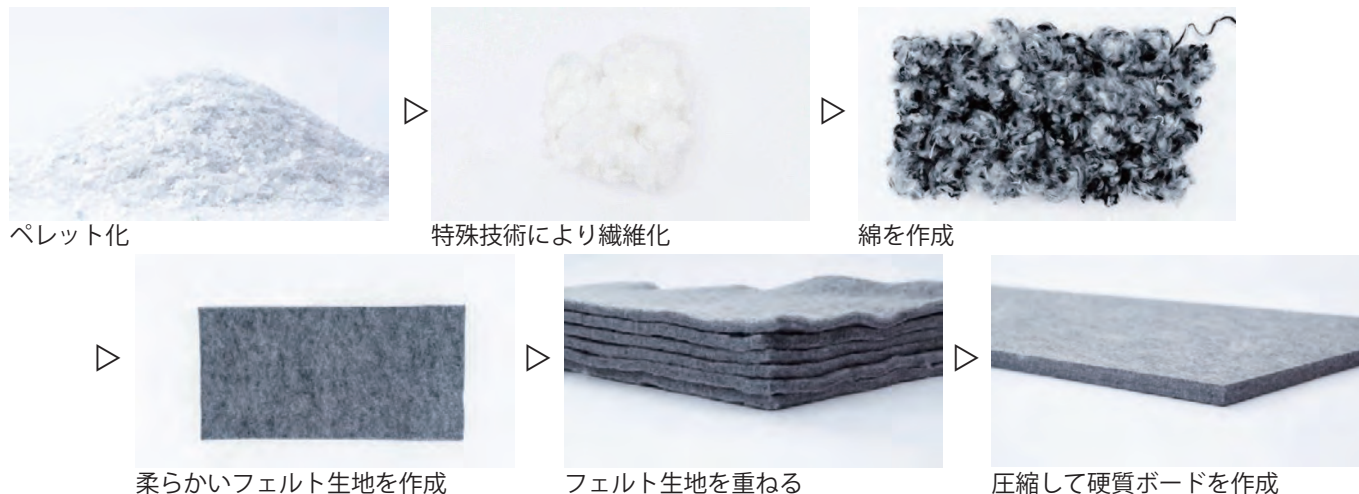


UMILE プログラムの説明

②abode による回収した PET 製容器を使用した FEELT の制作

ユニリーバが制作したペレットを綿状に加工し、それを固めて硬質フェルトボード FEELT を制作しました。FEELT 1 枚あたり、500ml の回収ペットボトルに換算しますと、約 70 本分を混入しています。本事業では FEELT 23 枚分（回収ペットボトル約 1610 本分）を制作しています。

ペレット状から FEELT が出来上がるまでの工程



FEELT から、一つ一つデザインされたオーナメントが
カッティングプロッターを使用して切り出されていく様子

③グリーンディスプレイによる FEELT ORNAMENT の制作と装飾の活用

FEELT を使用して、商業施設におけるクリスマス時期の装飾に使用するオーナメントやツリーボックスをデザイン・制作しました。クリスマス時期にはツリーに飾り付けを行いました。

設置施設：南町田グランベリーパーク、羽田エクセルホテル東急、阪急 GREEN AGE、レクサス秋田



のるるんオーナメント



右：Dove/star オーナメント
左：Reindeer/starr オーナメント

FEELT ORNAMENT 制作数は当初の目標であった 500 個を大幅に上回り、合計で **1235 個** を制作し、様々な施設で装飾に活用しました。



GREEN AGE 用に作成したオーナメント（結晶・星・木）

シンプルな形状からそれぞれの形のオーナメントをくり抜き、くり抜いた後の FEELT もオーナメントとして使用できるデザインとしました。



羽田エクセルホテル東急のクリスマス装飾にも FEELT ORNAMENT を活用

④ワークショップの実施

ワークショップの体験内容

- ・あらかじめ切り込みを入れた FEELT からオーナメントをくり抜く
- ・くり抜いたオーナメントに自由に絵を描く
- ・自分だけのオリジナル FEELT ORNAMENT を作成し、もみの木に飾りつける

・南町田グランベリーパーク

南町田グランベリーパーク内で FEELT ORNAMENT の制作・飾り付けのワークショップを行いました。FEELT ORNAMENT が作られるまでの工程を説明しながら自らの手で素材に触れてオーナメントを制作することで、プラスチックの資源循環を身近に感じてもらい楽しんで参加していただくことができました。



参加募集ポスター

実施報告ポスター



ツリーに飾られるのるるんオーナメント 南町田グランベリーパークでのワークショップの様子

・学研スタディエ

参加児童には、ユニリーバの UMILE（ユーマイル）プログラムの取り組み事例から資源循環について学ぶ 15 分ほどの動画を見ていただきました。ワークシートに学んだことを書き込み、その後、参加者やファシリテーターとともに、自分の身の回りの資源循環について考えて発表し、FEELT ORNAMENT を作るワークショップを行い、楽しみながら資源循環について学んでいただきました。



学研スタディエでのワークショップの様子

■ 事業によって得られた効果

プラスチック製使用済空容器の再利用による資源循環促進

再生 PET を原料に 1235 個のクリスマスオーナメントを制作することで、約 37kg のバージンプラスチック（同じサイズのプラスチックオーナメント一個当たり 30g×1235 個分）の使用を抑制し、資源循環戦略に貢献しました。

環境意識の向上と啓発活動

クリスマス装飾を通じて環境意識の向上を促し、子供向けイベントを通じて資源循環への関心を喚起しました。これにより、地域の美化と資源循環への参加意識を高めました。

資源循環の可視化による社会実装の推進

資源循環の可視化を通じて、地域資源の循環モデルの実装を推進しました。南町田グランベリーモールの平均乗降者数 42,591 人への訴求を実現しました。また、羽田エクセルホテル東急のような日本の玄関口になる場所において装飾に活用することで、国内の観光客に加え海外からの訪日客に対して資源循環の取り組みを波及することにも繋がりました。

■ 本事業後の展開

本事業終了後、次の展開として FEELT を用いて、植栽演出に使用するプランターやスツールといった什器の展開を予定しています。既に同様の素材でサンプルの制作を進めていて、既にグリーンディスプレイ本社ショールーム内での展示も行っています。今後はユニリーバの回収 PET のみでなく、廃衣料も混合した FEELT を制作し、更なる利用拡大を進めていきたいと考えています。



FEELT で制作されたプランター什器の展示の様子

■ 実施スケジュール

2023年			
8月	9月	10月	11月
空容器回収 クリスマス装飾提案内容まとめ ワークショップ実施先選定	FEELT制作開始 装飾詳細決定	FEELT ORNAMENT制作 ワークショップ内容決定 ワークショップポスター制作 装飾事前制作	商業施設への装飾実施 ワークショップ実施
2024年			
12月	1月	2月	
商業施設への装飾実施 事業成果物のまとめ	廃棄類を含めたFEELTの制作 FEELTプランター 什器の制作展示	報告書まとめ	